



世界大会（總持寺で）

「国内外における

全国曹洞宗青年会の国際活動」

広報委員 高柳龍哉

今回の全国曹洞宗青年会（以下、全曹青）の活動紹介は、世界仏教徒青年連盟の紹介をいたします。

全曹青は、全日本仏教青年会（以下、全日仏青）を通して世界仏教徒青年連盟（The World Fellowship of Buddhist Youth 以下、WFBY）に加盟しています。

WFBYは、世界の仏教徒が交流友好親善を図るとともに、仏教の崇高な教義の普及と世界平和への貢献を目的として、一九七二年に設立された世界最大の仏教青年会であり、十六ヶ国、四十二の国を代表する仏教団体が加盟しています。

その加盟団体が一堂に会し、WFBY最高の議決機関として二年に一度開かれる世界仏教徒会議、世界仏教徒青年会議、世界仏教徒大学会議が二〇一八年十一月、千葉県成田市にあるホテルや大本山總持寺を会場として日本で約十年ぶりに開催されました。大会テーマは「Compassion in Action 慈悲の行動〜生死の中



マレーシア仏教青年会国際交流プログラム

に見出す希望」でした。開催国として、その貴重な機会にあわせて仏教興隆をはかるための式典や法要、イベントなどを数多く開催いたしました。またWFBY役員の改選も行われ、全曹青から日本人初のWFBY会長として村山博雅顧問が就任したのをはじめとして、副会長・倉島隆行顧問、顧問・松岡広也国際特別委員、会計次長・村上徹信国際委員長、事務局次長・高柳龍哉広報委員が就任し、現在、世界仏教の一翼を全曹青が担っています。

WFBYでは、十一ある委員会では様々な行事を開催しておりますが、その中でも大きな行事の一つに「国際仏教徒青年交換プログラム(International Buddhist Youth Exchange 以下、IBYE)」があります。IBYEは、年に一度アジア諸国で開催され、将来の社会的リーダーの育成、青少年の国際交流や伝統的仏教文化のグローバル化を目的としています。IBYEに参加した青少年が、大人になり各国で活躍していることは勿論のこと、WFBYの役員として世界へ出てIBYEで学んだことを活かし、仏教興隆へ寄与しています。

過去、日本で開催されたのは二〇〇七年西日本、二〇一三年福島、二〇一五年東京・横浜、二〇一七年宮城の四回となります。最近におけるこの高い開催頻度



●執筆者プロフィール
全曹青広報委員
高柳龍哉

秋田県曹洞宗青年会所属
全曹青第二十二期全日仏青特別委員、
第二十三期広報委員
全日仏青第二十一期事務局次長・国
際副委員長、第二十二期国際委員
WFBY世界仏教徒青年連盟事務局次長



坐禅研修の様子

は、世界の仏教徒から日本仏教への強い関心のあらわれでもあり、とりわけ、アジアのみならず広く世界に広まっている日本の「ZEN」が、その関心の大きな要因の一つであると感じています。

昨年は、マレーシア仏教青年会から十五名が来日、福島県いわき市の曹洞宗寺院醫王寺にて茶道、書道、香道、精進料理、応量器展鉢、暁天坐禅、施食会の随喜などの禅修行プログラムを行いました。茶道では抹茶を点て、書道では筆を持ち、香道ではお香を焚き、暁天坐禅では足を組み、朝課では共にお経を唱え、施食会ではお焼香をし、参加者自身で「ZEN」の実践をいたしました。また、今年二月には、タイ国バンコクにあるWFBY本部にて「ZEN」を体験する「バンコク参禅布教研修会」が開催されました。定員三十名のところ、五十名を超える多くの参加者が集まりました。

村山WFBY会長は就任後、互いを敬い、仏教文化交流を推し進め、お互いの理解をさらに深めてきました。そしてこれからも、将来を見据えたリーダーシップ養成、ネットワークづくり、コミュニケーション体系の構築を推進していくと共に、日本仏教の「和の精神」や「SOTÖZEN」の国際社会への宣揚をはかってまいります。